



印西市

議会だより

第155号

平成23年(2011年)2月
発行
千葉県印西市議会
編集
議会だより編集委員会
〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111(代)
FAX 0476-42-5299



市内笠神地先に飛来している白鳥

平成22年
第4回
定例会

会期1月29日~12月22日

議員の期末手当を引き下げ

平成22年 第4回定例会議案等議決結果

議案番号	件名	議決の結果
議案第1号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第2号	特別職の職員で常勤のもの及び教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第3号	特別職の職員で常勤のもの、教育委員会教育長及び職員の旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	特別職の職員で非常勤のもの旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	印西市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	平成22年度印西市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第8号	指定管理者の指定について(若萩三丁目集会所)	原案可決
議案第9号	指定管理者の指定について(障害児放課後対策事業所)	原案可決
議案第10号	指定管理者の指定について(印西市高齢者就労支援センター)	原案可決
議案第11号	字の区域及び名称の変更について	原案可決
議案第12号	印西市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	印西市道路線の認定について	原案可決
議案第14号	印旛郡市広域市町村圏事務組合の経費の支弁方法の変更及び印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決
議案第15号	長門川水道企業団規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決
報告第1号	専決処分報告について	報告
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
発議案第1号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
発議案第2号	北総鉄道の長期債務の軽減に、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の利益剰余金の活用を求める意見書の提出について	原案可決
発議案第3号	別居・離婚後の共同親権・共同監護の法制化と支援を求める意見書の提出について	原案可決
請願第22-4号	別居・離婚後の共同親権・共同監護の法制化と支援を求める意見書提出を求める請願書	採択
請願第22-5号	夏休みの小学校のプール開放再開を求める請願	継続審査
請願第22-6号	滝野循環バス補助金予算の執行に関する請願	継続審査
請願第22-7号	TPP、FTA、EPAなど、輸入自由化推進路線の見直しについて意見書提出を求める請願	継続審査
請願第22-8号	米価暴落に歯止めをかけ、備蓄米40万トンの買入れなど緊急対策の即時実施について意見書提出を求める請願	継続審査

第4回定例会は会期24日間で開かれました。条例の一部改正が7件、平成22年度補正予算が1件、その他7件の計15議案のほか、報告が1件、諮問が1件、議員発議による発議案が3件、請願5件が提出され慎重な審議が行われました。なお、議案などの議決結果については、左表のとおりです。

この議会だよりは再生紙を使用しています。

一般質問

平成22年第4回定例会では開会日から8日間、28人の議員による個人質問が行われ、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。



個人質問

病院問題について

板倉 正直

質問 11月9日に厚生労働省へ行き、話を聞いたが、建設用地は地番面積が特定されなければ病床配分及び開設許可をしない。正徳会が病床配分を得て約1年9ヵ月経過しているのは論外で、厚労省で指導すると言っていた。このような決まりを知らなかったのか、それとも承知しながら正徳会を推薦したのか。承知していたとしたら大問題、どうなのか。

健康福祉部長 把握している。ニュータウン内に決まったら公募するということをやっている。

個人質問

クリーンセンター建替えの前にごみの減量を

増田 葉子

質問 印西地区環境整備組合がつくった「ごみ処理基本計画」は、家庭ごみの減量目標を、一人一日517gとしているが、白井市は策定前ですでにその目標を達成していた。組合と構成市町でどういう協議をしたのか。

環境経済部長 国は平成12年度のごみ量を27年度までに20%減量するとしている。そのため517gとなった。

個人質問

学校のエアコン設置・芝生化・プール開放を

近藤 瑞枝

質問1 小・中学校の環境整備について①エアコン整備を②校庭の芝生化を

教育部長 ①良好な施設環境を整えるために、今後検討していきたい。未設置の教室すべてに設置した場合、約13億5千万円かかる。

個人質問

インフラ整備は大胆且つ速やかに

上條 公司

質問1 大雨ごとに出水を心配し、自ら土嚢を積んで浸水に備える生活が半世紀以上放置されている。改めて問う。

都市建設部長 ご指摘の地区周辺は汚水排水施設の整備を優先して進めてきたが、雨水排水対策の整備を今後速やかに進める。六軒地区該当者へは説明会を早々に実施する。

個人質問

牧の原駅圏の活性化について

橋本 和治

質問1 牧の原駅圏の活性化には窓口のある金融機関が必要だが、金融機関誘致の現状と今後の予定は。

都市建設部長 平成23年中に京葉銀行と千葉銀行が支店を開設する予定。

個人質問

ゴミ空気輸送中止と北総線運賃問題

雨宮 弘明

質問1 ゴミ問題 ニュータウン中央駅北地区で実施しているゴミ空気輸送事業が平成23年3月末で中止になるが、理由は何か。また、これまでいくら経費がかかったのか。

景観計画と条例づくりは

松本 隆志

質問 印西市は平成17年以降、景観条例制定の検討を行ってきたと思われるが、進捗状況、今後の見通しを伺いたい。

都市建設部長 平成16年に景観法が施行されたことに伴い、印西市は、君津市とともに千葉県モデル市になった。

市としては、ニュータウン区域内の国道464号沿道などを先行的に地区計画の手法により、景観に関する制限を加えることが重要と考え、平成19年度に地区計画の



滝野中学校 校庭

の防砂対策は、改修整備とともに芝生化を含めできるだけ早期に実施していく。

質問2 プール開放費用の9割は人権費である。地域・保護者が協力することで、再開できないか。

教育部長 八千代市のように地域団体が運営の主体となれば、人権費の削減に繋がるが、安全確保の面など、いくつかの課題がある。

総務部長 貴重なご意見を頂戴した。(合併後)全市民が共有できるものはない。他自治体を参考に研究したい。

その他の質問

「小学生の水泳教育」、温水プール利用の可能性など
・「幼保施設入所待機児童ゼロ」の説明は正確か
・「事業助成と契約問題」、ひょうたん池周辺環境整備、契約の現状と入札方式の見直しなど

質問 街づくりという観点から、調査研究にとどまらず、市は鉄道事業者に対して積極的に牧の原駅停車を働きかけるべきではないか。

答弁 駅圏全体のより一層の利便性の向上のためにも、アクセス特急の牧の原駅への停車について、様々な機会を捉え、鉄道事業者に対し働きかけたい。

た、これまでいくら経費がかかったのか。
環境経済部長 廃棄物処理法が改正され、ゴミの減量化、資源化が進んだため、建設費、維持管理費合わせて116億円かかった。印西市の負担は2900万円であ

る。

質問 市はこの中止をどのよう
に反省しているのか。

答弁 建設省のモデル事業とは
いえ、循環型社会の進展が予測で
きなかった。

質問2 北総線運賃問題 沿線
6市(市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、
船橋市、白井市、印西市)と県及
び鉄道会社との合意書では法定の

「活性化協議会」の設置が前提に
なっていたが設置されたのか。

市長 白井市の補助金支出に目
途が立ったので、平成22年11月の
県での会議で設置が確認され担当
も決まった。将来を見据えた高運
賃は正への取組みも進めていき
たいと考えており、次のステップへ
つながるものと認識している。

「活性化協議会」の設置が前提に
なっていたが設置されたのか。
市長 白井市の補助金支出に目
途が立ったので、平成22年11月の
県での会議で設置が確認され担当
も決まった。将来を見据えた高運
賃は正への取組みも進めていき
たいと考えており、次のステップへ
つながるものと認識している。

個人質問

交通安全問題と
道路整備について

櫻井 正夫

質問1 すぐ近くに行くにも車
を使用する車社会となり、それと
共に交通安全教育が必要と思う。

特に高齢者に対しての交通安全教
室を数多くする考えはないか。

市民部長 高齢者の交通安全に
対する意識の高揚が重要と思
い、交通安全教室の中でドライビ
ングスクールなどにも念入りに指
導して行きたい。

質問2 県道64号線関係で、
岩戸から師戸の龍ヶ谷橋迄の歩道
の延伸、岩戸地先のスリーエフ前
の冠水問題、造谷橋より464号
線造谷交差点迄の歩道の延伸など

道路整備について

都市建設部長 いずれも県道千
葉臼井線で、千葉県管理となっ
ているので、内容などを調整し県
へ事業要望書を提出したい。

質問3 旧印旛村で開催されて
いたイベントの継続について
環境経済部長 旧印旛村での主
なイベントは、実行委員会方式で
取り組まれているので、市とし
ては全面的に後援し、テント、テ
ィブルなどの貸し出しをさせてい
ただく。安全対策も例年通り予定
している。

個人質問

平成23年度当初予算、
医療と年金など

金丸 和史

質問1 平成23年度予算につ
いて①基本方針②1市2村時の予
算との比較

市長 ①行財政改革の推進、合
併協定項目に即すこと、国・県の
動向の注視、事業などに対する財
源確保、実態を踏まえること、将
来債務の抑制、合併特例期間の認
識ということを中心に編成を進め
ていく。

企画財政部長 ②現在、要求ベ
ースで311億円、平成21年度1
市2村の合計は297億円で最終
的には、今年度となる見込み。
質問2 医療と年金について①

医療制度改革案②国民健康保険
の見直し③社会保険労務士の活用

市民部長 ①厚生労働省案の中
では、都道府県単位の財政運営が
示されている。



10月24日に行われた「市民家庭婦人バレーボール大会」

個人質問

松山下公園内の施設の充実

板橋 睦

質問 松山下公園総合体育館の
利用状況について

教育部長 平成22年11月15日現
在の利用状況だが、市民大会や団
体利用などで、約2万4300人、
個人利用として、バトミントン、
弓道、ニュースポーツなどで
1000人である。

また、オープニングイベントや
団体のリハーサル大会、ゆめ半島
千葉大会などで、約1万3000
人の来場者であった。

②平成22年度の医療費の伸びが著
しく、財源不足が想定される。保
険税の見直しと一般会計からの繰
入を行う必要がある。③年金相談
や国保運営協議会などで活躍戴
っており、年金委員など活用の方

を広げたい。
その他の質問
・教育とスポーツ
・北総線の運賃問題
・広報「いんざい」について

その他の質問

・学校教育問題について(教育方
針・施設整備・施設管理・給食
について)

・環境問題について(印西クリ
ンセンター・野焼きについて)
・団体について(成果・評価・反
省点・山岳競技の普及計画につ
いて)
・松山下公園について(アクセス
道路について)

個人質問

本埜第一小学校と
第二小学校統合

吉本 幸弘

質問 本埜村時代、本埜第一小
学校と第二小学校の統合の気運が
高まり住民説明会も持たれたが、
新市にどう引継がれたか。

教育部長 教育長会議で話題に
なったが、細部は引継なし。

質問 本埜第一、第二小学校を
それぞれ6名、9名の学級がある。
この先複式学級になるのではと危
惧されるがどうか。

答弁 法律で学級の標準人数が
定められているが、事情により複
式学級としないことはできる。

質問 教育はある程度の人数の
学級で切磋琢磨させた方が良く
考える。

教育長 少人数が学級にも良い
面があり、それぞれの特徴を生か
した教育により、児童を輝かせる
ことが重要。

質問 私の考えは少し異なる。
市他の地区にも少人数学級の学
校が数校あるので、早目早めに動
向を把握し、対応していただき
たい。

その他の質問
・残土埋め立て問題
・市内業者の育成問題

個人質問

印西市における
残土埋め立て問題について

海老原 作一

質問 指導中の事業者は新たな
小規模特定事業の許可の対象者に
なり得るのか。

環境経済部長 許可を受けてい
る事業の完了を確認し、適正に完
了した旨の通知を出していない場
合、同一事業者に許可をすること
はできない。

質問 指導中の小規模特定事業
について

質問 いろいろな真つすぐでは
ない申請方法があると思うが、
答弁 条例により、申請者で判
断をする。

個人質問

牧の原駅郵便局問題・
中央駅圏土曜開庁は

松尾 榮子

質問1 牧の原駅郵便局問題
について平成20年9月議会で質問
したがその後は。

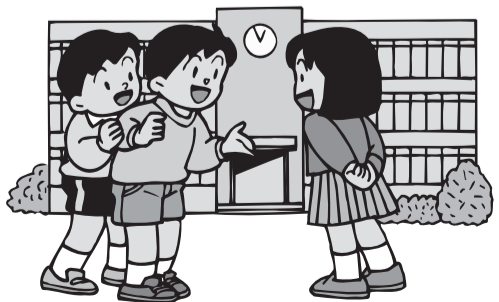
都市建設部長 銀行は平成23年
度中に京葉銀行、千葉銀行が進出
決定。郵便局については新住事業
者と協議しているが実現してい
ない。

質問 茨城県牛久市のひたち野
地区では、駅前のビルに平成23年
4月郵便局開設の決定があった。
牧の原駅圏は現在の居住状況でも
将来人口でもひたち野地区より緊
急度、切実度が高い。今後どうし
ていくか。

環境経済部長 牛久市の事例を
より詳細に確認し、郵便局や都市
再生機構など、関係機関との協議
を強く進める。

質問2 合併に伴い本庁での隔
週土曜開庁に加え、印旛支所、滝
野出張所での土・日開庁が増えた
がいずれも中央駅圏からは遠い。
中央駅前出張所では実施は。

市民部長 (仮称)地域交流セ
ンターが開所すれば可能。全体の
土曜開庁について前向きに検討
する。



個人質問

防犯・安全対策について

織原 拯

質問 国道464号の印旛日本医大駅から印西牧の原駅間、鎌刈り北から荒野地区間の街路灯設置について

質問 竜腹寺から滝野、鎌刈り北から荒野地域、印旛日本医大駅から印西牧の原駅間の歩道脇の除草木の枝の除去

市民部長 市が設置、管理する歩道照明や防犯灯の整備は、子ども達の安全、災害時の市民の避難場所となる学校周辺や通学路、公共施設周辺や大勢の市民が往来する駅周辺の整備を進めている。他の幹線道路については、周辺の状況や交通量、市民の意向など総合的に勘案し設置を検討している。同区間は、国道及び県道であり道路管理者と協議して行く。

都市建設部長 国道道の管理をする印旛地域整備センターは、年1回実施。市もパトロールなどで積極的に県に要望する。

その他の質問

- ・本整グランドゴルフ同好会に対する補助金、減免
- ・独居老人に対する日常確認
- ・松山下公園体育館の利用状況
- ・ゴミの減量化



戸建住宅の建設が進む東の原

個人質問

デキシー跡地利用とふれあいバス中学無料化

海宝 豊

質問1 成田スカイアクセス開

通後の騒音問題について

市長 京成電鉄(株)に問い合わせたところ数件の相談は有るもの

概ね理解が得られているとのこと、低周波についても発生していない。

い場合、市が取得する事は難しい。だが、木下駅圏の活性化の観点からすると、非常に重要な事柄と捉えているので今後も注視して行きたい。

環境経済部長 跡地は、売却の方向で進めていると聞いているが、具体的な進展はないとの事である。又、具体的な動きがあれば市と協議して進めていくとの事である。

その他の質問

- ・小中一貫校導入の可能性
- ・ふれあいバス中学生無料化
- ・インフルエンザ対策
- ・電子黒板の導入
- ・コスモス通り天神坂着工時期
- ・スポーツ少年団支援

質問 デキシー移転後の跡地を市で取得する事は出来ないか。

答弁 使用目的がはっきりしない

個人質問

国営印旛沼

馬場 広

二期事業について

質問 国営事業分では、二年据え置きで10a当たり年間10000円を15年間で支払えば良いが、受益農家の皆さんは、これで田んぼに水がくると思いこんでおり、関連事業でまだまだたくさんのお金がかかる事を理解していないのではないか。

伺っている。国営事業の同意書は、91%、これから取りかかる関連事業については、現在関係機関で協議中。市としては、事業実施にあたっては地元負担について十分説明できるように調整を行って行きたい。

環境経済部長 国営事業の進捗に合わせ関連事業として県営事業、団体営事業がある。この事業は当該年度内の精算となる。関連事業については、国営事業の進捗に合わせて同意、徴収を行っている

その他の質問

- ・印旛沼公園下の市有地の活用について
- ・印旛日本医大駅前の駐在所について
- ・八千代宗像線の進捗状況について
- ・小学校の小人数対策について

個人質問

23年度予算編成と印旛中央土地地区画整理事業

岩崎 成子

質問1 ①予算編成の基本方針 ②予算規模 ③財政の見通しについて伺う。

企画財政部長 ①行政改革の推進、合併協定項目に即した予算編成、国・県の予算動向の注視、新規事業などに対する財源などの確保、実態を踏まえた予算要求、将来債務の抑制、合併特例期間の認

識の7つの基本方針を掲げたところである。②各課からの要求ベースは約311億円である。③歳入見通しは、景気の低迷を受け、個人所得の減少や法人市民税の減収で現状の歳入確保が厳しい状況。歳出見通しは、経常的経費の増加と千葉ニュータウンの熟成に向けた経費や社会資本整備総合交付金

の増加などにより、今後も厳しい財政運営が予測される。

国土開発(株)、清水建設(株)、ベイス(株)、カインズの4社を選定し事業の可能性の検討、業務代行者の参画条件などの整備を行っている。

個人質問

やさしくて便利な窓口づくりについて

小川 義人

質問 窓口サービスについて、やさしくて便利な窓口づくりについて

れ、別に申請書記入することなく、利便が向上している。

市民部長 平成22年4月より総合案内業務を市民課窓口業務の一環として、職員による業務とし、担当している。来庁者が最初に訪れるところであり、重要な業務なので、問合せに対応できるように心がけている。来庁者に満足いただけるサービスを提供していきたい。出生時に住民登録のための住民異動の届出用紙は、現在4枚複写となっており、各部署に回付さ

総務部長 障がいをお持ちで車イスでの来庁者に支障がないよう、出入り口のスロープ設置や、申請窓口を1階に集約し、車イスの高さのローカウターを設置した。また、提案のあった各部署までの色別誘導線や部署ごとの色別標示については、現在、吊下げ標示板を採用しており、そのなかで、利用者によりやすいサインを設置していきたい。

個人質問

印西市における農業問題について

鳩谷 榮衛

質問1 米価に対する戸別補償について

除を依頼している。平成22年4月から10月末で72頭を捕獲。

環境経済部長 戸別補償の条件として、生産調整を達成または水稲共済に加入が条件。水田で麦、大豆、米粉用米、飼料用米など生産販売する事業。大豆、麦は10a当たり3万5000円、飼料用米は10a当たり8万円または10a当たり1万5000円交付。販売価格が過去3年間の平均価格を下回った場合、その差額の補てんを行う。

環境経済部長 猪駆除委託費として、82万9000円の予算である。今後印西市有害鳥獣被害対策協議会を設置し協議していく。

質問2 猪被害対策について

環境経済部長 平成22年度は農業委員会と連携し実態調査を行っている。

質問3 耕作放棄地解消事業について

その他の質問

- ・学校法人日本医科大学印旛地区内の開発について
- ・印旛沼浄化について

印西市議会 会議録の検索と閲覧



会議録がインターネットで閲覧できます

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

なお、従前どおりの会議録の閲覧も次の場所で閲覧できます。第4回定例会の会議録は、3月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局(市役所5階)
- ◇行政資料コーナー(市役所1階)
- ◇支所(印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、草深、印旛、本埜)

個人質問

土砂等埋立て、農業問題、教育環境について

石井 文夫

質問1 大森字中ノ口の土砂埋立て問題と改善策について伺う。

環境経済部長 申請と違う土砂埋立ての疑義が生じた。事業のチェックが十分と言えず必要な指導が不足していたと考える。疑わしい土壌の地質検査を実施、環境基準超過の汚染物質は検出されず以後は周辺河川や井戸水の水質検査などを含め経過を観察する。

質問2 農業の位置づけが大きくなったが、急浮上した農作物の貿易自由化がなった場合の影響について伺う。

環境経済部長 環太平洋戦略的

経済連携協定(通称TPP貿易協定)で、関税が原則100%撤廃となり、経済的メリットはあるが農業には打撃が懸念され、農水省や千葉県試算で農業生産額が大きく減少すること動向を注視したい。

質問3 教育環境の充実として暑さ対策について伺う。

教育部長 特に暑さ対策では、児童生徒の健康面と学習生活の場として良好な施設環境が必要で、財政面を含めエアコン設置を検討したい。

個人質問

意見書について

國嶋 久善

質問 平成20年10月28日付けで、山崎市長が正徳会に出した意見書について、平成20年12月1日に千葉県知事に提出した病院開設計画書に伴う意見書と比較すると、山崎市長は明らかに正徳会を賛美して、牧の原病院を反対する表現内容になっている。病院建設提案委員の評価では逆に牧の原病院が1650点で、正徳会が獲得した点数が1547点で何故か評価が

悪かった正徳会病院を賛美して推薦されたのか理解できない。大きな矛盾がある。市長が県知事に提出した意見書では、正徳会病院でなく、医療計画の内容も偏ったし、資金力もなく未だに土地の確保もなく正徳会にこだわっているのは何故か。

市長 意見書などについては、事実をそのまま事実として書いた。ご理解いただきたい。

個人質問

公共交通空白地域の解消・空き庁舎の活用

武藤 邦芳

質問1 公営バスの定期運行方式とデマンド方式の併用について。以前は難しいという回答だったが。

市長 併用についてはその可能性について計画を策定していく中で検討していくべきものと認識している。

質問 地域公共交通活性化協議会の中で、市民の移動の自由を行政が何処まで保証するか、定期運行バスを走らせる基準等明確な基準を設けて公表するべきでは。

企画財政部長 現行のふれあいバス・路線バスの利用状況・地域の実情など様々な観点から運行について判断していくことが必要と考えている。なかなか明確なところはないかもしれないが

個人質問

全世帯に国保保険証の発行で医療の保証を

山田 喜代子

質問1 高すぎる国保税を払えない家庭が増えている。国保世帯の7割が所得なしから200万円以下の暮らしをしている。税が払えないため資格証が発行され窓口で全額を払わなければ医療が受けられない。資格証の発行を止め全員に保険証を発行すべきだ。低所得者が多く保険証に事業者負担もないことから国の財政支援があつて成立する医療保険だ。減らされている国庫負担を元に戻すよう国に要求するべきだ。

市民部長 資格証については納税に努力して頂き、窓口へおいで

様々な観点を総合的に勘案して計画を策定していきたいと考えている。

質問2 庁舎の空き室の利活用について。印旛・本埜支所の空き室はどのくらいか。

企画財政部長 未使用となっているのは6室353・4坪である。その他の質問 平成23年度の予算編成・里山の保全と活用

個人質問

都市計画税の『減税』の可能性

中澤 俊介

質問 新たに都市計画税の課税客体となる地域は。

市民部長 都市計画税は、1月1日が賦課期日となっており、合併後の本埜地区では、初めて賦課期日を迎えることになる。平成23年度より新たに課税客体となる地域は、本埜地区の滝野・みどり台・竜腹寺の一部で、課税のモデ

ルケースを示すと、平均的な戸建住宅では、1戸あたり年税額約2万2000円、マンションでは、約2万3000円となる。本埜地区での都市計画税は概算で、約4700万円の歳入を見込んでいます。

質問 県内36市の課税状況は。 答弁 都市計画税の上限である

税率0.3%を採用している市は、千葉市、市川市、印西市など、17市あり、非課税の浦安市をはじめ、残る19市は0.3%未満となっている。

個人質問

病氣予防施策の拡充で市民の健康を守れ

浅沼 美弥子

質問1 心の健康を守る ①認知行動療法②精神対話士について

健康福祉部長 ①うつ病に有効な精神療法。効果が明らかになり4月から保険適用に。②財団法人が認定する資格。精神的支援を行う心のケアの専門職。

質問2 胃がん予防のためピロリ菌検査助成の考えは。

健康福祉部長 医療機関により検査法が異なる。費用対効果などを含め調査・研究する。

質問3 白血病や脊髄症予防のため、原因菌であるヒトT細胞ウ

市長 地域の都市計画事業などの実態や長期的な見地から、現行税率での課税が必要と考えている。



質問1 イルス1型の抗体検査を妊婦健診項目に追加することについての進捗状況。

健康福祉部長 検査可能な受診券を備えた母子健康手帳を平成23年4月から発行できるよう準備中。

質問 専門職の研修について 答弁 印旛郡市保健指導者研究会を活用し実施する。

その他の質問 鳥獣被害対策の拡充について 生活保護行政について 新設道路の命名について



妊娠届出により交付される「母子健康手帳」

ご意見・ご感想をお寄せください!

議会だよりを読んで感じたことなど、皆さまのご意見をお待ちしております。

〒270-1396
 印西市大森2364-2 印西市議会事務局
 TEL: 0476-42-5111 (内線607・608)
 FAX: 0476-42-5299
 Mail: gikai@ml.city.inzai.chiba.jp

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、**2月14日(月)~3月23日(水)の会期予定**です。開会は10時からとなりますので、5階議場にお越しください。なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お尋ねください。

印西市議会事務局 ☎0476-42-5111 (内線607・608)

個人質問

プール開放どうする? 保育園の正職員増やせ

山本 清

質問1 小学校のプール開放を平成23年度に再開する意向は。
教育部長 プール開放は、総合的に判断して一つの区切りをつけた。本議会に請願書が提出されているので、その動向を注視していきたい。

質問2 プール開放は保護者にとっても死活問題だ。保護者などのような話し合いを重ねたのか。
答弁 先ほども答弁したが、様々な観点から、一つの区切りをする、という判断をした。

質問3 旧本埜村の幼稚園・保育園では、旧印西市と比べて非正規雇用の教諭・保育士の比率が非常に多い。保育園は本埜だけ「派遣」に依存している。平成23年度の態勢はどうなるのか。
教育部長 公立幼稚園3園の教諭については、できるかぎり正職員で対応することが望ましい。
健康福祉部長 平成23年度も、保育園は現体制を維持していくことを考えている。

個人質問

農業問題・市道と高齢者の単身世帯について

大塚 輝男

質問1 水田農家の戸別所得補償モデル対策について
市長 二つの事業があるが、市内において、11戸と14戸の実績である。

環境経済部長 所得補償の金額がまだ決まっていない。また、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)については、国の動向を見守りたい。農家への影響を注視していく。

質問2 竜腹寺線の建設見直しと赤道に関して、道路側面の草刈について
市長 竜腹寺線については、合併協議会の申し合わせでもあり、調査研究費を平成23年度予算に計上する。



都市建設部長 旧本埜村で赤道の生コン舗装はあったが、市においては、基本的には整備しない方向である。

個人質問

高花地域の交通問題について

齋藤 光彦

質問 交通問題について①高花地区交通網の整備とバス停の管理について②6駅(仮称、そうふけ高花駅)設置計画について
企画財政部長 ①高花地区の路線バスの循環運行については、事業者より運賃の設定や車両の確保など課題があると伺っている。今後もし引き続き事業者への要望及び話し合いを行っていききたい。バスの停留所の時刻表管理は、路線バスなどを運行する事業者が随時把握に努めているが、今後とも破損などがあつた場合には、速に対応できるように事業者に要請していきたい。②6駅設置については、千葉ニュータウン事業の熟成や周辺環境の整備など、諸般の状況注視し、幅広く6駅設置の可能性について考えている。現在進めている次期総合計画の策定作業にお

その他の質問
 ・平成23年度予算編成について
 ・千葉ニュータウン事業について
 ほか



高花地区路線バス、ふれあいバス停留所

各常任委員会での審査

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。各常任委員会に付託された議案は、平成22年12月13日に総務企画常任委員会、15日に文教福祉常任委員会、16日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催された委員会で審議されました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部について掲載します。

総務企画 常任委員会

議案第2号 特別職の職員で常勤のもの及び教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について(市長、副市長)

質疑 減額措置によって、1年間でどのぐらいの減額になるのか。
答弁 平成22年度で約114万円の減額である。

議案第3号 特別職の職員で常勤のもの、教育委員会教育長及び職員の旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について(市長、副市長、教育長、一般職の職員の旅費の担当を支給しない期間を延長するもの)

質疑 平成11年から担当の減額をしているとのことだが、民間会社では早い時期に廃止している。日当の規定がある

こと自体時代遅れと考えられる。日当条例自体を廃止してはどうか。
答弁 県下の市では、条例から廃止した自治体が県内に10市ある。それ以外の約20市は条例で規定され、特例条例によって減額している。当市は、基礎となる旅費法という法律で日当規定が現に生きており、金額なども準拠していることから削除していない。だが、県内の市の状況を勘案しながら、今後検討すべき問題であると認識している。

議案第4号 特別職の職員で非常勤のもの旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について(非常勤特別職の旅費の担当を支給しない期間を延長するもの)

質疑 合併により面積が広くなり、さらに交通の利便性など考えて、影響が出てくるのではないかと思うが、そういう議論はあったのか。
答弁 特段の議論はないが、非常勤特別職についても、常勤特別職、一般職に準じて日当が支給されないことは理解していただいている。

議案第5号 印西市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について(市が管理する自転車駐車場に駐車可能な車両の条件を加えるなど)

質疑 自動二輪を125ccまで拡大したが、どのぐらいの台数を想定しているのか。
答弁 千葉ニュータウン南口で13台、牧の原北地区で12台の計25台を想定している。

議案第6号 印西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(地方税法などの一部改正に伴い課税限度の上限を変更するもの)

質疑 今回の改正により、1億9000万円ほどの差額が出るということだが、平成23年度については、法定外繰り入れをどのように想定されたのか。
答弁 一般会計から約1億6000万円程度を考えている。

議案第8号 指定管理者の指定について(若萩三丁目集会所の管理を指定管理者に行わせるもの)

質疑 通常、集会所の管理の場合、町内会とか自治会が管理しているが、なぜ委員会を立ち上げ、管理しているのか。

答弁 この施設は、千葉県住宅供給公社から自治会集会所の管理を移行しようということが残したもので、もともと自治会の中では、要る、要らないという意見もあり、村がその施設を引き取って、その中で、集会所が地元に必要なと考える方々が集まり委員会を設立した。

答弁 所管区域が変わっても、利用する市民の方は、どの出張所でも同じ業務内容で取り扱っているの、変わりは無い。

文教福祉 常任委員会

議案第11号 字の区域及び名称の変更について(宗甫、小林瓜坪台、草深石道谷津の一部の名称等を変更するもの)

質疑 今回の地名の変更の際、審議会の中で、別の案が出ていたかどうか。また、地域住民から、旧地名を残したい、もしくは旧地名の一部を入れたいというような意見が出ていなかったか。

答弁 住所表示審議会の中で、旧地名、大字、小字は何とか残す形で新字名はつけられないのかという意見も出た。しかし、これについては、かなりの数の小字があり、新字名として使えるか検討したが、そのまま使えるものは見当たらないという結論になった。

議案第12号 印西市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について(千葉ニュータウン21住区の字の区域及び名称変更に伴うもの)

質疑 所管区域を変更することにより、利用者側から見た場合、どの様になるのか。

議案第9号 指定管理者の指定について(印西市立クリオネクラブ(障害児放課後対策事業所)の管理を指定管理者に行わせるもの)

質疑 指導員の体制や状況はどうなっているか。

答弁 指導員は、原則3人に1人を充てている。ただし、重度の方については、1対1の体制である。

議案第10号 指定管理者の指定について(印西市高齢者就労支援センターの管理を指定管理者に行わせるもの)

質疑 講座終了後どのような業務に行っているか。またどの業務にどれくらいの割合でついているのか。

答弁 講座終了後の就労先調査は実施していないため、どれくらい就労に結びついたかは把握していないが、植栽管理の講習会に参加後、印西市内の造園業者に3名就労した実績がある。



建設経済 常任委員会

議案第13号 印西市道路線の認定について(道路法の規定により、市道路線を認定するもの)

質疑 道路認定後の工事などのスケジュールは、どのようになっているのか。

視察研修報告

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会では、

10月28日～29日の日程で、三重県伊勢市と同松阪市を訪問し、視察研修を行った。伊勢市では「ふるさと未来づくり政策」について研修した。全市一律のサービスではなく、地域の実情に合わせた市民サービスを行うため、小学校区を基本的な単位として、市内24地区の中から3地区をモデル地区に指定し実施。市民側からの要望は地区の中に「地区みらい会議」をつくり、その中で話し合ってもらおう。「地区みらい会議」には町内会など地域の代表の方々と行政側から部長級を中心3名が参加、行政もアシストしながら、試行的に運営している。市民がみずから問題解決に取り組む手法として、本市の参考にした。

松阪市では「地域公共交通」について研修した。民間バスが赤字で撤退し、住民の要望

答弁 今後の工事スケジュールは、用地については、取得に係る補正予算をこの議会で提出しており、平成23年第1回定例会で、財産の取得を予定している。それを受けて、平成23年度に入ってから工事を行っていく。



三重県松阪市視察(総務企画)

に合わせた運行が出来るようにしている。地元の協賛金や自治会の負担金は地域によってまちまちだが、自分達が費用を出して運営しているという意識をもってもらうようにしている。本市の公共交通のあり方もそうあるべきと感じた。

副委員長 橋本 和治

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では平成22年11月1日から2日にかけて大阪府大阪市および、大阪府箕面市の2市を訪問した。大阪府では救急安心センター事業を、又箕面市では施設一体型小中一貫校の建設と小中一貫教育の推進についてをテーマとして行政視察を実施した。大阪市では病気や怪我の際に救急車を呼ぶかどうか迷った時に相談できる「救急安心センターおさか」を平成21年10月に設置した。この事業は、国のモデル事業として1億2200万円の事業費は国が全額負担している。同センターは市消防局が健康福祉局、病院局と連携し、医師、



大阪府大阪市視察(文教福祉)

看護師、相談員をチームとし、ローテーションで24時間365日体制で相談に応じている。相談を受け医師らが必要と判断すると119番にかけ直す事無く救急車が出動するシステムとなっている。箕面市では施設一体型の中一貫校である「市立とどろみの森学園」を建設し、小中一貫教育推進のパイロット校として開校している。同学園では心身の発達段階に応じ9年間を見据えた学習、生徒指導を行い、学力の向上等、教育効果を高めることを目的に小中学校の9年間を前期4年、中期3年、後期2年に区分して一貫教育を行っている。学校建設、又病院誘致の課題に取り組んでいる我が市に対する市政運営提言に大いに資する物を得た。

副委員長 海宝 豊

建設経済常任委員会

日に日に寒くなり紅葉も深まる中、建設経済常任委員会では、東北新幹線全線開業を間近に控えた、青森県八戸市と岩手県盛岡市において行政視察を行った。11月4日～5日の1泊2日の日程で、両市を訪問したのですが、八戸市ではご当地グルメとして今や超有名となった「八戸せんべい汁」を初めて口にした。鶏肉や野菜などで取ったあつさりとした出汁に、南部せんべいをパリッと割り入れて煮込む素朴な郷土料理。抜群の集客力を誇る食材は、食文化として定着し、地域の活性化に

大きく貢献しているように感じた。また、盛岡市のブランド開発事業は市長を先頭に、市民への浸透も広がりつつあり、今後の展開が期待される。今回の視察のテーマは次のとおり。



岩手県盛岡市視察(建設経済)

青森県八戸市では、環境先進都市の取り組みについて中心市街地再生の取り組みについて

岩手県盛岡市では、盛岡ブランド開発事業について土地区画整理事業によるまちづくりについて

いずれも印西市において喫緊の課題である中心市街地再生の取り組みや環境・都市計画といった問題であり、先進事例を参考に、議会からの問題提起や提案、まちづくりの観点からも二元代表制の機能を十分に発揮させて新印西市の課題に取り組んでいきたい。結びに、本視察にご尽力賜った、すべての関係者の皆様に感謝申しあげたい。

副委員長 中澤 俊介

発議案

▼印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について〈可決〉

議員の期末手当について、支給割合を引き下げるもの。

▼北総鉄道の長期債務の軽減に、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の利益剰余金の活用を求める意見書の提出について〈可決〉

特に厳しい経営状況にある北総鉄道の長期債務を軽減するため、機構の利益剰余金を活用することを強く要望し、国に意見書として提出するもの。

▼別居・離婚後の共同親権・

共同監護の法制化と支援を求める意見書の提出について〈可決〉

多様な親子や家庭のあり方が模索される中、子どもの利益を最優先に考え、その視点に立った改善を求めるため、国に意見書を提出するもの。

請願

▼別居・離婚後の共同親権・共同監護の法制化と支援を求める意見書提出を求める請願〈採択〉

離婚後も双方の親の養育の権利と責任を明確にする離婚後の協同親権・共同監護の制度導入など他2項目について意見書を国に提出するよう要望するもの。

総務企画常任委員会に付託

され、12月13日に審査した結果採択となり、議会最終日に採択と決定した。

▼夏休みの小学校のプール開放再開を求める請願〈継続審査〉

地域の子供達にとって、夏休みのプール開放は身近で安全な遊び場で、学年を超えた子ども同士の交流の場であることから、プール開放の再開を強く求めるもの。

文教福祉常任委員会に付託

▼滝野循環バス補助金予算の執行に関する請願書〈継続審査〉

滝野循環バス路線を復活させるよう要望するもの。

総務企画常任委員会に付託

滝野循環バス路線を復活させるよう要望するもの。

▼TPP、FTA、EPTなど、輸入自由化推進路線の見直しについて意見書提出を求める請願〈継続審査〉

輸入自由化推進路線を改め、食料自給率を引き上げ、各国の「食糧主権」を尊重した貿易ルールづくりを力発揮するよう国に意見書として提出するよう要望するもの。

建設経済常任委員会に付託

▼米価暴落に歯止めをかけ、備蓄米40万トンの買い入れなど緊急対策の即時実施について意見書提出を求める請願〈継続審査〉

生産原価無視の激しい産地間の値下げ競争が起こっており、米価下落の歯止めがきかなくなっている。この状態が続くと農家経営と産地の疲弊がいつそう進み、国民への国内産米の安定供給が困難になることから、棚上げ備蓄を前倒しし、40万トン程度の備蓄米を適正価格で買い入れるなど、米価下落策をただちに実

建設経済常任委員会に付託

会で結論を出すことができないため、継続審査となった。

▼米価暴落に歯止めをかけ、備蓄米40万トンの買い入れなど緊急対策の即時実施について意見書提出を求める請願〈継続審査〉

生産原価無視の激しい産地間の値下げ競争が起こっており、米価下落の歯止めがきかなくなっている。この状態が続くと農家経営と産地の疲弊がいつそう進み、国民への国内産米の安定供給が困難になることから、棚上げ備蓄を前倒しし、40万トン程度の備蓄米を適正価格で買い入れるなど、米価下落策をただちに実

建設経済常任委員会に付託

実施するよう国に意見書を提出するよう要望するもの。



建設経済常任委員会に付託

され、12月16日に審査が行われたが、引き続き十分調査する必要がある、今会期に委員会で結論を出すことができないため、継続審査となった。

最近、国会関係のニュースの中で「熟議」という言葉を見ることが多くなりました。文字通り、「熟した議論」のこと。国政なら国民、市政なら市民が徹底的に話し合うことを通じて、相互に理解を深め合う政治のことです。異質な者が隣り合わせることが多くなった現代は、「あ・うん」の呼吸で政治をすることができず、「熟議」が必要とされるのです。

2011年を迎えて最初の「議会だより」をお届けします。1年前は、まだ「1市2村合併」が実現するかどうか、決まっていなかった政治情勢でしたが、昨年の3月、異なる背景を持つ3つの自治体が一緒になりました。新印西市は今、まさに「熟議」が必要な時だと感じます。異なる背景を持つ旧印西、旧印旛、旧本笠が、議会の内外で徹底して話し合い、互いの立場を理解しあうことができれば、新印西市は輝かしい歴史を刻むことができるはずです。(K・Y)

編集後記

議会日誌

11月

- 1日(月) 文教福祉常任委員会視察(～2日)
- 4日(木) 建設経済常任委員会視察(～5日)
- 5日(金) 北千葉道路建設促進期同盟要望活動
- 10日(水) 全員協議会
- 22日(月) 会派代表者会議
議会運営委員会
- 24日(水) 文教福祉常任委員会
- 25日(木) 長門川水道企業団議会定例会
- 29日(月) 議会運営委員会
平成22年第4回定例会(～12月22日)
議会だより編集委員会

12月

- 8日(水) 議会運営委員会
- 13日(月) 総務企画常任委員会
- 15日(水) 文教福祉常任委員会
- 16日(木) 建設経済常任委員会
- 21日(火) 印西地区環境整備事業組合議会臨時会
- 22日(水) 議会運営委員会
- 24日(金) ニュータウン等対策特別委員会

1月

- 12日(水) 文教福祉常任委員会
- 18日(火) 建設経済常任委員会
- 19日(水) クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会
- 21日(金) 議会だより編集委員会
- 24日(月) 文教福祉常任委員会
- 25日(火) 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 26日(水) 千葉県市議会議長会研修会
- 27日(木) 全員協議会
- 31日(月) 印西地区環境整備事業組合議会定例会

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、平成23年第1回定例会(3月議会)で審議される請願・陳情書の提出期限は、2月4日(金)正午(予定)です。
お早目のご提出をお願いいたします。

一般質問の閲覧

平成23年第1回定例会(3月議会)で予定されている一般質問(個人)の内容は、2月8日(火)以降ホームページで閲覧できます。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 山口 道博 |
| 副委員長 | 齋藤 光彦 |
| 委員 | 山本 清 |
| 〃 | 岩崎 成子 |
| 〃 | 海宝 豊 |
| 〃 | 中澤 俊介 |
| 〃 | 橋本 和治 |